

神門地区人権啓発推進協議会だより

心がかよう 人づくり まちづくり

# さるびあ

“ひととして人らしく生きよう”

令和8年 6月号

## 総会をおえて

今年度の総会は、委員総数60名のところ、委任状24通、当日は25名の自治委員様にお出掛けいただき、総会は成立いたしました。各議案に承認をいただき、令和8年度の活動に向けて良いスタートが出来ました。ありがとうございました。今後とも人権について深いご理解と関心をいただきますようお願いいたします。

さて、毎年総会后には、委員研修会を実施しています。本年は講師として出雲市人権同和政策課 石倉様に「ネット社会における部落差別と人権」と題して講演していただきました。いまだに無ならない部落差別、なぜでしょうか。以前、私が会長になった時に「米原さん、寝た子を起こさないように。」と声をかけていただいた方がいらっしやいました。その時は、笑顔で返事を返した覚えがあります。しかし、いろいろと学んでいく中で、これではいけないと気づくことになりました。今は、自分の利益のためなどに SNS 等で他者や団体を誹謗中傷したり、人の命にかかわることがあるかもしれないのに軽い気持ちで「いいね」を押す。私には他人事のように皆さんに捉えてほしくはありません。自分の祖先の事もわからず、他者の祖先を中傷すべきではないことを強く意識しながらこの講演を聞きました。どうか神門地域の皆さんが安心して暮らせる地域になりますように、一人ひとりのお力で作りあげてほしいと願っています。



最後に、美しく住みやすいふるさとを子どもたちにみんなで残してあげましょう。

神門地区人権啓発推進協議会

会長 米原 伸夫

人の値うち

江口いと

何時かもんぺをはいて  
バスに乗ったら  
隣座席の人は私を  
おばはんと呼んだ

戦時中よくはいたこの活動的なものを  
どうやらこの人は年寄りの  
着物と思っているらしい

よそ行きはおりの着物に羽織を着て  
汽車に乗ったら  
人は私を奥さんと呼んだ  
どうやら人の値うちは  
着物で決まるらしい

講演がある  
何々大学の先生だと言え  
内容が悪くても  
人々は耳をすませて聴き  
良かったと言う  
どうやら人の値うちは  
肩書で決まるらしい

名も無い人の講演には  
人々はそわそわして帰りを急ぐ  
どうやら人の値うちは  
学歴で決まるらしい

立派な家の娘さんが  
部落にお嫁に来る  
でも生まれた子供はやっぱり  
部落の子だと言われる  
どうやら人の値うちは  
生まれた所によって決まるらしい

人々はいつの日  
このあやまちに気付くであろうか